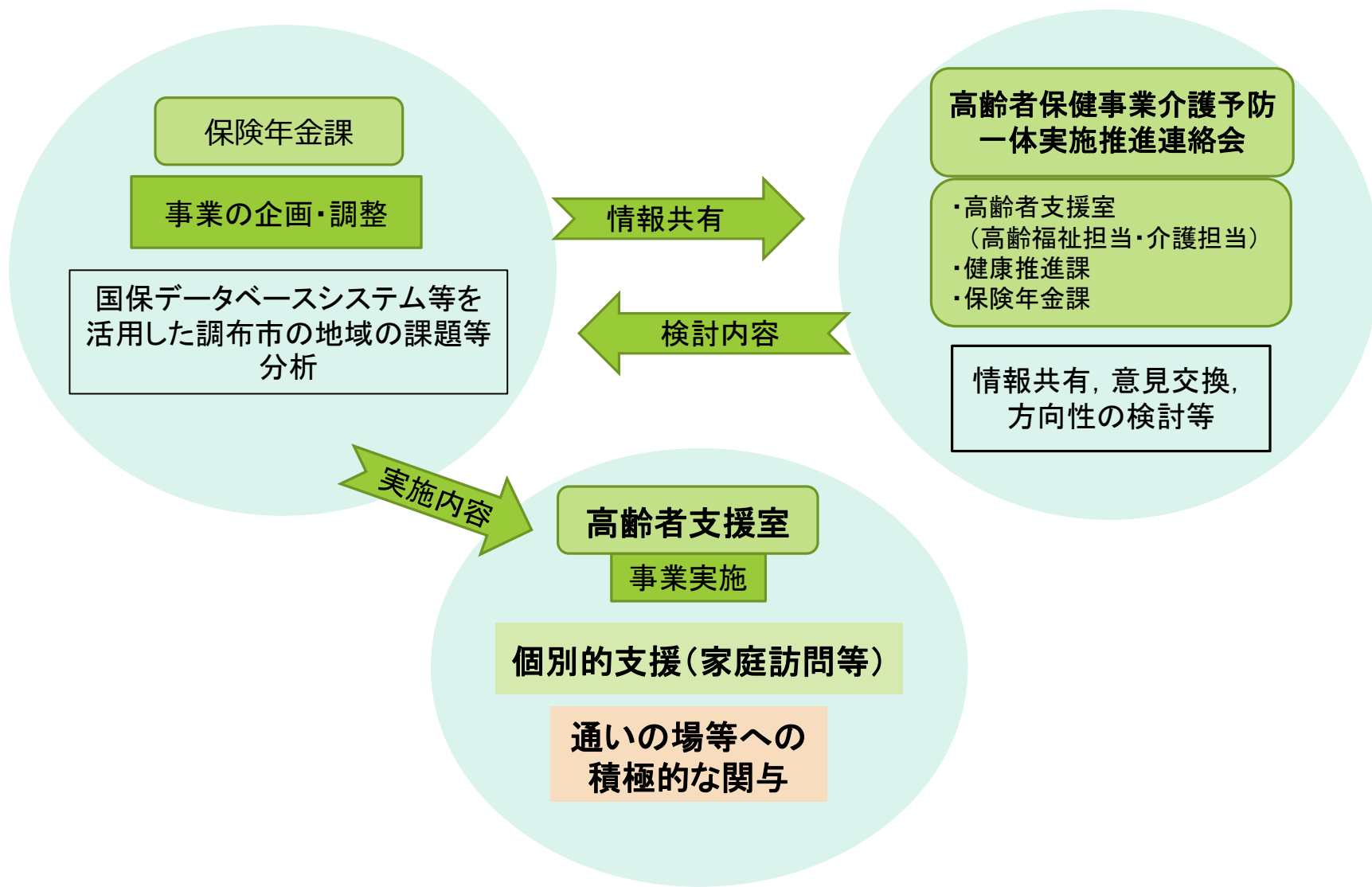


高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施報告



令和4年11月18日

庁内連携と高齢者への支援



一体的実施の支援内容(国の基準)

2024年

までに全ての市町村で
一体的な実施を展開

●高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ)

ア 低栄養防止・重症化予防の取組(かかりつけ医と連携した
アウトリーチ支援)

- (a) 栄養・口腔・服薬に関わる相談・指導
- (b) 生活習慣病等の重症化予防に関わる相談・指導

イ 重複・頻回受診者、重複投薬者等への相談・指導の取組

ウ 健康状態が不明な高齢者の状態把握・受診勧奨等・
必要なサービスへの接続

ハイリスクアプローチの中から
1つ以上訪問・アウトリーチ
で実施

市は健診受診率が低いこと、健
診未受診者は医療費が高額で
あること、ア、イは広域が実施し
ていることからウを実施している

●通いの場等への積極的な関与 (ポピュレーションアプローチ)

ア フレイル予防の普及啓発、
運動・栄養・口腔等取組等の健康
教育・健康相談を実施

イ フレイル状態の高齢者を把握し、低栄養や筋力低下等の
状態に応じた保健指導や生活機能向上の支援等を行う。

ウ 取組により把握された高齢者の状況に応じて、健診や医
療の受診勧奨、介護サービスの利用勧奨などを行う。

介護予防
(地域リハビリテーショ
ン活動支援事業等)の
取組と一体的に実施

ポピュレーションアプローチは
アとイ、またはどちらか実施
場合によりウ



令和4年度高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ・ウ) 経過報告

目的

健康状態不明者の状態を把握し、健康相談等を行ったのち、後期高齢者健診受診勧奨の他、必要時適切なサービスへ接続することにより、健康寿命の延伸、生活の質の向上を目指す。

内容

対象者：健診・医療・介護等のデータから過去4年間調布市の後期高齢者健診未受診、医療レセプトなし(未受診)、介護サービスの利用がない81～85歳の方。

実施方法：企画調整担当が誕生日別に対象者を抽出。

高齢者支援室看護職が事前に事業内容と家庭訪問予定日案内を送付。

原則家庭訪問により、健診受診勧奨の他、「高齢者のための質問票」等を用いて現状把握と健康相談を実施。数か月後再度訪問または手紙支援等を実施。

必要時医療機関受診勧奨・必要なサービス・相談先等を紹介する。



高齢者に対する個別的支援(支援内容)

高齢者の質問票を実施し、
健康状態を総合的に把握する

質問文		回答欄 いずれかに○をお付けください	
健康状態	1 あなたの現在の健康状態はいかがですか	①よい	②まあよい
		③ふつう	④あまりよくない
		⑤よくない	
心の健康状態	2 毎日の生活に満足していますか	①満足	②やや満足
		③やや不満	④不満
食習慣	3 1日3食きちんと食べていますか	①はい	②いいえ
口腔機能	4 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか ※さきいか、たくあんなど	①はい	②いいえ
	5 お茶や汁物等でむせることがありますか	①はい	②いいえ
体重変化	6 6カ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	①はい	②いいえ
運動・転倒	7 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	①はい	②いいえ
	8 この1年間に転んだことがありますか	①はい	②いいえ
	9 ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	①はい	②いいえ
認知機能	10 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされていますか	①はい	②いいえ
	11 今日が何月何日かわからない時がありますか	①はい	②いいえ
喫煙	12 あなたはたばこを吸いますか	①吸っている	②吸っていない
社会参加	13 週に1回以上は外出していますか	①はい	②いいえ
		14 ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	①はい
ソーシャルサポート	15 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	①はい	②いいえ



状態に合わせたパンフレットを用いて、運動、
栄養、社会参加についての説明や、医療
機関受診勧奨、健診受診勧奨を実施



質問票をもとに、良いところ、改善した
ところが良いところを説明

介護申請やその他サービスへの導入が必要な時は地域包括支援センターへ引継ぎを行う。

令和4年度実施中の 実施対象人数と実施状況

4～12月生まれまで約28人が対象。(1～3月生まれ20人程度の見込み)
今年度**対象48人程度の見込み**

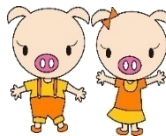
(9月末現在) 4～9月生まれまで訪問終了。対象13人
2人は対象者抽出手紙発送後、本人から受診し内服開始した電話報告あり終了。
1人は訪問時不在、その後転居し家族から元気である旨連絡あり終了。
その他10人は家庭訪問にて状況確認ができた。

【実施状況】

- ・血圧が高値のため、同居家族同席のもと、健診や医療の受診勧奨を実施。
その後後期高齢者健診を受診し、内服治療開始。1人。
- ・5月中旬訪問し、受診勧奨実施したが7月ご自宅で突然亡くなった。1人。
(レセプト未)
- ・必要な方へ**包括支援センター**、**医療機関紹介**、**詐欺防止用電話録音機**等の紹介を行った。

【実施した感想】

- ・昨年度よりも対象年齢を下げ、80代前半にもかかわらず、歯がない・少なくとも放置している方が多く、その方は友人との交流が少ない印象だった。
- ・転入後の方は健診データ、医療レセプトを確認できるまで半年程度かかる場合があり、抽出後に時間を空けて確認、取り消す場合が多い。



令和4年度 通いの場等への積極的な関与 (ポピュレーションアプローチ)

目的

フレイル予防の普及啓発，健康相談等により，フレイルを身近な問題として捉え，自らが生活の質の低下をきたさないよう心掛ける人が増える。

実施内容（予定）

対 象：75歳以上の方を1人以上含み，10の筋力トレーニングを行っている自主グループ，ひだまりサロンのうち応募があった，福祉圏域8箇所各1グループ 合計16箇所に実施。

実施内容：各グループの活動場所に看護師・保健師が出向き，フレイル予防講話，後期高齢者健診等受診勧奨，オーラルフレイル予防体操等実技を原則全グループに追加。パタカ測定，質問票を用いた個別健康相談の他，グループ活動に参加することが社会参加の1つであるため，継続参加することのメリットを伝えモチベーションを維持してもらえる働きかけを実施。

※グループの参加人数や希望時間や要望，圏域別健康課題等により実施内容を調整している。

通いの場等への積極的な関与(支援内容)

フレイル予防の普及啓発講話を実施



高齢者の質問票を実施し、健康状態を総合的に把握する

<質問票の内容について>

類型名	No	質問文	回答
健康状態	1	あなたの現在の健康状態はいかがですか	①よい ②まあよい ③ふつう ④あまりよくない ⑤よくない
心の健康状態	2	毎日の生活に満足していますか	①満足 ②やや満足 ③やや不満足 ④不満足
食習慣	3	1日3食きちんと食べていますか	①はい ②いいえ
口腔機能	4	半年前に比べて固いもの(*)が食べにくくなりましたか *さきしほ、たくあんなど	①はい ②いいえ
体重変化	5	お茶や汁物等でむせることがありますか	①はい ②いいえ
	6	6カ月間で2〜3kg以上の体重減少がありましたか	①はい ②いいえ
運動・転倒	7	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	①はい ②いいえ
	8	この1年間に転んだことがありますか	①はい ②いいえ
	9	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	①はい ②いいえ
認知機能	10	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われていませんか	①はい ②いいえ
	11	今日が何月何日かわからない時がありますか	①はい ②いいえ
喫煙	12	あなたはたばこを吸いますか	①吸っている ②吸っていない ③やめた
社会参加	13	週に1回以上は外出していますか	①はい ②いいえ
ソーシャルサポート	14	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	①はい ②いいえ
	15	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	①はい ②いいえ

質問票をもとに、良いところ、改善したほうが良いところを説明

口腔内機能評価(オーラルディアドコキネシス)を実施

お口の機能測定
「パ」「タ」「カ」測定

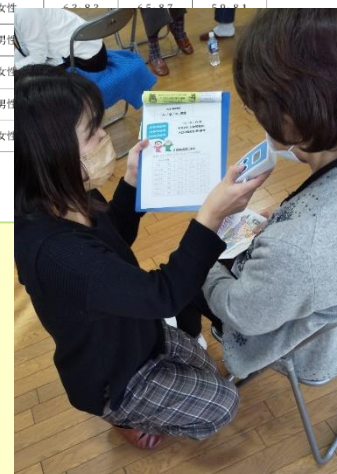
「パ」「タ」「カ」をそれぞれ5秒間発音。お口の機能を測ります

5秒間測定します

健康な方の1秒間に何回言えたのかの回数表

あなたの回数		回数表		
年齢	性別	パ	タ	カ
19歳~34歳	男性	5.8~8.2	6.0~8.8	5.4~8.0
19歳~34歳	女性	5.8~8.2	6.0~8.8	5.4~8.0
35歳~59歳	男性	5.8~8.2	6.0~8.8	5.4~8.0
35歳~59歳	女性	5.8~8.2	6.0~8.8	5.4~8.0
60歳以上	男性	5.8~8.2	6.0~8.8	5.4~8.0
60歳以上	女性	5.8~8.2	6.0~8.8	5.4~8.0

状態に合わせたパンフレット等を用いて、低栄養予防や口腔機能低下予防の説明、医療機関受診勧奨や、健診受診勧奨、後期高齢者歯科健診のPR等を実施



通いの場への関与 参加人数と実施した様子

実施状況(10月6日現在)

実施済み 9箇所 / 16箇所

参加者計 84人 (うち男性13人, 後期加入外17人程度, 市外在住0人)

実施した様子

①90代中心のグループや, 60~70代中心で健康意識が高く活動メニューに講師を呼んでいるグループなど様々だった。

②介護認定がない方たちで当日高齢者の質問票によるフレイルリスクが高いものは「運動機能」「健康感, 心の健康感(日常生活に対する満足度)」であった。

反面, グループに参加している方たちであるため, 社会参加でのフレイルリスクが高い方はいなかった。

③グループ参加が社会参加の1つであるため, 継続参加することのメリットを伝えモチベーションを維持してもらえる働きかけを実施している。

④7~8月は新型コロナ流行第7波により活動休止のグループもあり, お申込みが集まりづらい状況だった。9月に再度活動グループに声をかけ, 計13箇所からの申込みを受けている。

ポピュレーションでのフレイルリスクアセスメント結果(令和4年10月11日現在)

圏域	グループ	実施人数			後期非加入 (市外)	フレイルリスク該当者 (介護認定なし・不明のみ)						
		参加	男性	女性		実人数	健康・心	口腔	体重	運動	認知	ソーシャル
仙川	10の筋力トレーニング	11	2	9	1	1	1					
ゆうあい	10の筋力トレーニング	14	2	12	4	6	3	1	1	2		
ちょうふの里	10の筋力トレーニング	8	2	6	4	3				2	1	
ちょうふの里	ひだまりサロン	9	2	7	2	5	2	1		4		
仙川	ひだまりサロン	9	0	9	1	1	1					
至誠	10の筋力トレーニング	6	1	5	2	1	1	1	1	1		
つつじヶ丘	10の筋力トレーニング	6	0	6	1	2	2	1	1	2		
はなみずき	10の筋力トレーニング	7	1	6	0	2				1	1	
ときわぎ国領	10の筋力トレーニング	14	3	11	2	1				1		
合計		84	13	71	17	22	10	4	3	13	2	0